

PART

1

お金のチカラで
人生が変わった

100人の
証言

人生の選択肢を広げる お金の知恵

お金は何のために貯めるのでしょうか。また、お金はどうやって貯めて、どうやって使えばいいのでしょうか。これからの時代を生き抜くために不可欠なお金の知恵について、藤沢久美さんに聞きました

取材・文/大山弘子(72~77、78P 高田さん)、清水京武(76P 藤田さん、78~79P) イラスト/竹松勇二 撮影/松本英明(藤沢さん)

知恵
1

2つの『もしも』のために お金を貯める

① 病気やケガ、入院、 家族の介護などの トラブル

お金があれば、医療保険や傷害保険ではカバーできない自己負担分や、介護ヘルパーさんの費用に充てることもできる。

② キャリアアップや 夢の実現など 新しいチャレンジ

キャリアアップのために学校に通ったり、趣味の絵画の個展を開くことなどができ、それが転職や独立のきっかけになることも。

人生を防御する

人生の選択肢
を広げる

お金を貯めると人生の
選択肢や自由度が広がる
「お金を貯めたくてもなかなか貯まらない」という人もいるのでは？ そもそも、お金は何のために貯めるのでしょうか。藤沢久美さんは「お金を貯める意味は、2つの『もしも』に備えることにあります」と話します。

「1つは、病気やケガ、家族の介護、突然の解雇などの予期せぬ出来事。もうひとつは、キャリアアップや夢を実現するなどポジティブなチャンスです」
病気やケガで入院や休職した場合には、医療保険や傷害保険で入院代や生活費をカバーすることができません。とはいえ、保険金が支払われるまでには、多少時間がかかります。

「お金があれば、その間の生活に困ることはありません。介護で仕事を辞めても、生活費の心配をせずに済みますし、ヘルパーさんを頼んで仕事を続けるという選択肢も考えられます」
海外に留学できる、趣味で続けていた演劇で舞台に立てるなど、夢を叶えるチャンスが巡ってきた時も、お金があれば逃さずに済むのです。

「お金を貯めることで、人生の守りを固めることも、選択肢を増やしたり、自由度を広げたりもできます。まさに『備えあれば憂いなく』」
「お金を貯めることで、人生の守りを固めることも、選択肢を増やしたり、自由度を広げたりもできます。まさに『備えあれば憂いなく』」
「目標がない人も、積み立てなくても始めてみましょう。余裕があるようなら、金額を増やしていきます。趣味などの楽しみを奪わない範囲で始めれば、無理なく続けられますよ」

お金を貯める意味は 2つの『もしも』に備えることにあります



カリスマ専門家の
メッセージ

シンクタンク・
ソフィアバンク副代表
社会起業家フォーラム副代表
法政大学大学院
客員教授

藤沢久美さん

国内外の運用会社を経て、96年日本初の投信評価会社を起業。99年同社をS&P社に売却。00年シンクタンク・ソフィアバンク設立に参画。著書に「マネーのマネー」(日経新聞出版社)など多数

知恵
2

お金があると
次の夢を考えることができるようになる

[海外に漠然とした興味があるAさんの場合]

0円 → 「お金がなくて何もできない」と夢や目標はなし

10万円 → 海外旅行に行ってみよう

100万円 → 語学留学を試してみよう

貯蓄があると
「こう使いたい」という発想が
広がっていく

目的を作り、ありとあらゆる想定をする。今何をしたらいいか、いくら貯めたらいいかがわかる

上手に貯められる人は上手に使うこともできる

「お金が貯まって、精神的な余裕が生まれると、次の目標や夢が生まれることもあります」

特に目標を持たずに積み立てを始めた人でも、貯蓄が少しずつ増えていくと、10万円貯まったら海外旅行に行こうと考える

よくなるかもしれません。

「10万円を達成したら、『10万円貯めて海外に語学留学しよう』など、もっと大きな目標ができるかもしれません」

お金が貯まると、「こう使いたい」「こんなことがしたい」など、自然と使い方の発想も広がっていきます。つまり、上手に貯めることができるようになる

と、上手に使うこともできるようになるのです。

「また、次の目標を達成するためには、今の積立額のままでいいのか、少しリスクを取って増やした方がいいのかといったことも考えられるようになります。ただやみくもに『お金を増やしたい』と思っている人は、無理な投資をして失敗することもあります。ですが、目標を持っている人は、お金を減らしたくない。資産運用についても真剣に勉強するので、失敗も少なくなります」

目標を持つことは、キャリアプランやライフプランを描くことにもつながります。

「たとえば、30歳までに1000万円貯めて起業したいと考えたとしましょう。ゴールを決めると、いつまでに何をすればいいかなど、具体的な計画を立てることができるようになります」

知恵
3

夢から逆算して
今やるべきことを考える

[最終目標が30代で起業のBさんの場合]

貯蓄として1000万円必要

↓
給与から毎月●万円を貯めるという習慣

↓
起業のために社外の人との交流も積極的にしておく

30歳で起業するという目標を立てると、1000万円の資金が必要だから毎月10万円貯めることが必要だという具体的な計画が立てられる。また、29歳までにTOEICで850点取る、何かの資格を取るなど、キャリアプランも描ける。



その際、月々の貯蓄額はもちろん、想像力を駆使して、「病気で長期休業したらどうするか」「結婚することになったらどうするか」など、計画変更につながりそうな、あらゆる出来事を想定し、対応策も考えます。「いろいろなパターンを考えておけば、突発的な出来事にも案外冷静に対処できるものです」

想像力を働かせる習慣ができること、たとえばニュースを見た時に、次に何が起きるかを連想できるようにもなります。それは日常生活だけでなく、資産運用にも役立つでしょう。お金の知恵をつけることは、お金を貯め、増やすだけでなく、人生そのものを充実させることにもつながるのです。